

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 27 日

評価対象事業		評価者	都市計画課担当課長 井上 透 村上 慎也	
まち-07	都市計画運営事務	☒ 自治事務	主管課	都市計画課(都市計画担当)
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(2) 市街地整備	施策の方針	5-(2)-①市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市全域の土地利用・まちなみ
意図	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。
効果	まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更等の手続を行った。
・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正・印刷を行い、活用・販売した。
・都市計画業務支援システム用機器の更新を行い、同システムの運用・活用により、業務効率化を図った。
・県下一斉に実施される都市計画基礎調査の背景図として使用する都市計画基本図の修正と、その修正した都市計画基本図等を用いて3次元可視化ツールを構築する作業を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標（単位）	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標（実績値／目標値）		指標（目標値）	
				事業費（決算／当初）（千円）		予算額（千円）	
01	都市計画審議会運営事務	都市計画審議会委員報酬	-	/	-	-	
				214	528	528	
02	都市計画図発行事務	印刷製本費	-	/	-	-	
				3,598	3,846	2,244	
03	都市計画関連データ情報管理事務	都市計画業務支援システム保守業務委託料	-	/	-	-	
				781	781	816	
		都市計画関連データ等修正業務委託料	-	/	-	-	
				3,751	3,751	1,133	
		都市計画基本図数値地形図等データセットアップ業務委託料	-	/	-	-	
				0	0	575	
		都市計画業務支援システム用機器賃借料	-	/	-	-	
				357	637	424	
		ソフトウェア使用料	-	/	-	-	
				0	0	531	
	都市計画情報窓口閲覧用端末通信費	-	/	-	-		
			16	50	24		
	都市計画業務支援システム接続環境設定等業務委託料	-	/	-	-		
			1,188	1,188	0		
	都市計画基本図修正等及び3D都市モデル整備業務委託料	-	/	-	-		
			43,967	44,000	0		
04	一般事務経費	消耗品費、会場使用料等	-	/	-	-	
				286	309	366	
		財源内訳	国県支出金	22,040	22,283	0	
			地方債				
			その他特定財源	97	300	300	
			一般財源	32,021	32,507	6,341	
			事業費の合計（千円）	54,158	55,090	6,641	
			人件費（千円）		47,257	49,188	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	6.0	7.0	6.0	5.6	5.8	5.6
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	都市計画審議会運営事務	指標設定しない(都市計画決定及び変更案件等がある場合に、審議会に付議、諮問及び報告するものであり、指標設定には馴染まないため)	都市計画法等に基づき、都市計画決定、変更等にあたり、審議会の意見を聴くことは、本市がめざす土地利用の方針等に寄与するものであり、構成する事業としては妥当である。	特になし。 今後も会議開催事務の効率化に努める。
02	都市計画図発行事務	指標設定しない(都市計画図等は、都市計画決定及び変更等があった場合に修正し、印刷するものであるため、指標設定には馴染まない)	都市計画図等は、土地利用を計画する市民のほか、職員の業務にも広く活用されるものであり、本市の都市計画等の内容を周知するために必要であり、構成する事業としては妥当である。	現在は都市計画等の情報を印刷し、行政資料コーナーで販売しているが、インターネットを通じた都市計画情報の閲覧も併行しており、印刷部数の調整を行ってきた。今後も継続して効率化に努める。
03	都市計画関連データ情報管理事務	指標設定しない(保守業務、データ修正業務及び都市計画業務支援システム用機器の賃借については、日々の都市計画業務に必要な不可欠なものであるため、指標設定には馴染まない。また、都市計画基本図修正等及び3D都市モデル整備業務は、都市の現状及び動向を把握するための基礎資料を作成するものであり、それに対する目標値の設定や確認が困難なため、指標設定には馴染まない)	本市の都市計画情報を適切に管理するとともに、土地利用を計画する市民等に、迅速・正確に都市計画情報を提供するものであることから、構成する事業としては妥当である。	特になし。 今後も適切な都市計画情報の管理と情報提供サービスに努めるとともに、データ活用による社会課題の解決や新たな価値創造について検討していく。
04	一般事務経費	-	-	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー	市民

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☒ 拡充 ☐ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止

- ・都市計画図等の活用・販売、都市計画支援システムの活用及びインターネットを通じた都市計画情報の閲覧により、広く都市計画情報を公開するとともに、問い合わせ等に対応していく。また、3D都市モデルの活用により、まちづくりDX化を推進していく。
- ・令和3年度に策定した立地適正化計画の運用を行う。
- ・現行の都市マスタープランの評価を行うとともに、今後の鎌倉市のあり方を都市政策的な観点でグランドデザインすべく、都市マスタープランの抜本的な改定に向けて、必要な論点整理や施策立案に関連する調査研究を開始する。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--